

## はじめに

本書は、三部作(『出る! 出た! 英語長文 14 選 初級編』, 『出る! 出た! 英語長文 16 選 中級編』, 『出る! 出た! 英語長文 18 選 上級編』)の中で難易度が標準レベルの『出る! 出た! 英語長文 16 選 中級編』であり、いずれの英文も **400 語~ 600 語から成る英文**で編集されています。どの英文も入試問題に何度か出題されたことがある英文の中から精選したものです。2 度だけしか出題されていない英文も少なからずありますが、それらは内容的に入試問題で好まれるもので今後出題される可能性が高いと判断した英文です。あるいは、近年 2 年連続で出題されていて、今後も続けて出題されそうな英文などです。

なお、解説編では、文構造の把握に重点を置いて学習してもらうために、構造分析のページを大幅に取ることにしました。その際に複雑だったり、難しめだったりする文に関しては、**文法&構造のポイント**をさらに付け加えて説明することにしました。なお、問題を解くときは、本番のつもりで時間を計ってやってください。**目標解答時間**を各問題に付けてありますので、それを目安に解いてみてください。ただし、その時間にこだわすぎないようにしてください。ときには 5 分~ 10 分延長してもかまいません。ただ、時間を計らずに漫然とやるのだけは避けてください。入試問題は時間との戦いでもあります。常に本番を意識して取り組みましょう。また、自分にとって難解と思われる設問をむきになって解こうとするのはやめましょう。一定時間内で解けない場合は、解答・解説を読んで、納得がいくようにすればそれでよいです。

また、1 度解いた後の学習のほうがより大事ですので、計画的に本書をやり直して攻略してください。設問自体を解いたり、語句や構造を確認するのは、1 度だけでもいいですが、英文そのものは、時間を見付けて何度か読み返すと効果は何倍にも上がるはずですが、英文そのものは、時間を見付けて何度か読み返すと効果は何倍にも上がるはずですが、問題編の後に英文を再録してあります。一気に英文を読み通すことができるように、設問になっている空所には語句を埋めてあり、並べ換えの設問部分も元の語順に戻してあります。

諸君の頑張りを期待しています。

2017 年 6 月

編者記す

はじめに .....	2
本書で用いている記号 .....	4
<b>1</b> 世界の迷信のさまざま .....	6
<b>2</b> 芸術の起源 .....	18
<b>3</b> チャット仲間の救出劇 .....	30
<b>4</b> ベッドのさまざま .....	44
<b>5</b> 教室と現実の世界 .....	56
<b>6</b> 世界の貧困と飢餓の現実 .....	66
<b>7</b> 英語における隠語と専門用語 .....	76
<b>8</b> 愛は技術か .....	88
<b>9</b> 社会における言葉の役割 .....	98
<b>10</b> 笑いとは何か .....	112
<b>11</b> ボアイランゲージ .....	124
<b>12</b> 若者と音楽 .....	136
<b>13</b> ハチの活動の重要性 .....	146
<b>14</b> 選択肢が多いことはよいことか .....	156
<b>15</b> 塞翁が馬 .....	168
<b>16</b> 臓器移植の是非 .....	180

## 解答

問1 ア 問2 イ 問3 ア 問4 ア

問5 たとえば、13日の金曜日は縁起が悪いと信じている人たちは、その日に事故にあうことが(他の日より)多いように見える。

問6 ア 問7 イ、ウ

## 解説

問1 各選択肢の訳と、内容の可否は以下の通りである。

迷信によれば、

ア. 鏡を割れば、7年間不運に見舞われるだろう。

英文番号⑤ If you break a mirror, seven years of bad luck is unavoidable. の内容と合っている。

suffer misfortune 「不運に見舞われる」

イ. 継ぎ目を踏みつけば、母親に過去を思い出させるであろう。

英文番号② If you step on a crack, you'll break your mother's back. の内容と合っていない。

put your foot on a crack 「継ぎ目を踏みつける」

ウ. 幸運を望むならば、1月元旦に家を掃除しなければならない。

英文番号③ Don't sweep your house on New Year's Day, or you will sweep good fortune away. の内容と合っていない。

エ. 試験でよい得点をあげたければ、試験の直前に髪を洗うべきである。

英文番号④ If you wash your hair on the day of a test, the water will clean your memory and you will forget everything you studied. の内容と合っていない。

問2 各選択肢の訳は以下の通りである。

ア. 何世紀も前に、悪い運氣は説明できない出来事と関係があると誰も思わなかった。

英文番号⑧ ...hundreds of years ago, when unexplained events were thought to bring bad luck と合っていない。

イ. 現代社会には、昔からの迷信にまだ影響されている人たちがいる。

英文番号⑨ Even in the age of modern science, superstitions continue to



## 各文の意味と構造

### 第1段落

- ① [An apple a day] keeps [the doctor] [away]. ② [If you step on a crack], you'll break [your mother's back]. ③ Don't sweep [your house] [on New Year's Day], or [you] will sweep [good fortune] [away]. ④ [If you wash your hair (on the day of a test)], [the water] will clean [your memory] and you will forget [everything <▽ you studied>]. ⑤ [If you break a mirror], [seven years of bad luck] is unavoidable. ⑥ These are [examples of some of the many superstitions <around the world>].

① 1日1個のりんごで医者いらすずでいられる。② 靴紐を踏むと、母親の背骨が折れてしまう。③ 元旦に家の掃除をしないようにしないと、幸運を一掃することになる。④ 試験の日に髪を洗えば、水が記憶を洗い落とし、勉強したことをすべて忘れてしまう。⑤ 鏡を割ったら、7年間の悪運は避けられない。⑥ これらは、世界中の多くの迷信の中のいくつかの例である。

### 第2段落

- ⑦ [A superstition] is [a belief <that is not based on science>]. ⑧ [Many of these beliefs] date back (hundreds of years ago), (when [unexplained events] were thought to bring [bad luck]). ⑨ (Even in the age of modern science), [superstitions] continue to affect [people's behavior].

### 文法&構造のポイント

- ③ **命令文**, **or** ~で「…しないと(さもないと)~」という意味になる。形式上は(命令文)だが、意味的には(条件)を表す。ゆえに、「もし…しなければ、~になる」という意味である。
- ④ If you wash your hair on the day of a test,  
 ① the water will clean your memory and  ② you will forget everything you studied.  
 ①と②が主節を構成している。
- ⑤ seven years of bad luck で「7年間の悪い運氣」となる。
- ⑥ around the world は「世界中で」という意味で、(副詞句)として使われることが多いが、ここでは直前の many superstitions を修飾する(形容詞句)として機能している。
- ①  keep O away / keep away O 圖「O を寄せつけない」  
 ②  step on O 圖「O を踏む」  a crack 圖「綻ぎ目・割れ目」  
 break O's back 「O の背骨を折る」  
 ③  sweep O 圖「O を掃除する」  on New Year's Day 「元旦に」  
 sweep O away / sweep away O 圖「O を一掃する」  
 ⑤  unavoidable 圖「避けられない」 ⑥  a superstition 圖「迷信」

### 文法&構造のポイント

- ⑦ that is not based on science は、belief を先行詞とする(関係代名詞節)である。
- ⑧ when unexplained events were thought to bring bad luck は、直前の hundreds of years ago についてより詳しく説明をしている部分である。つまり、「何百年も前に」と言うてから、それはどういう時代であったかという、「説明できない出来事は悪い運氣をもたらすと考えられた時代」であったのだと説明している(関係副詞節)の継続用法である。
- ⑦  be based on O 「O に基づいている」 ⑧  date back 圖「さかのぼる」